

カートサイト「ネット西浦商事(インターネットで検索)」に一部の生粘土や焼成画像を掲載しています。

【赤土】

注:1

注:2

注:3

品名	税込価格	入数	目安温度	焼成収縮	篩い目	分類	素地の濃さ	可塑性	特徴
M-54	¥1,710	15kg	1,230°C	15.0%	80目	水簸	濃い	並	黄土水簸 焼き上がりの色の調整用 たね赤
T-96	¥2,100	15kg	1,230°C	12.5%	50目	水簸	濃い	良	赤土水簸 比較的キズが出にくい
M-42	¥1,830	20kg	1,200°C	13.5%	60目	水簸	薄い	良	粘性が強く扱いやすい 低温や酸化焼成が良い
15-1	¥2,030	15kg	1,200°C	13.5%	50目	水簸	薄い	並	テラコッタ用(800°C前後) 本焼可能
T-134	¥1,770	15kg	1,230°C	13.5%	40目	細目	並	良	黄土主体 扱いやすい 小物用
T-49	¥1,770	15kg	1,230°C	12.5%	40目	細目	薄い	並	細かい砂気を含み焼肌がざらつく
T-135	¥1,940	15kg	1,250°C	13.5%	24目	中目	濃い	良	黄土主体 耐火度が高く歪みも出にくい
T-133	¥1,800	15kg	1,230°C	13.5%	30目	細目	並	並	赤土主体 細かな鉄粉が多い
10-2	¥2,290	15kg	1,230°C	11.5%	24目	中目	薄い	並	炻器粘土 扱いやすくキズも出にくい
8-4	¥1,750	15kg	1,250°C	14.5%	1mm	中目	薄い	並	8-1の細目 細かな鉄粉が多い
T-51	¥1,600	15kg	1,280°C	10.5%	1mm	中目	薄い	難	砂気が多く焼肌がざらつく 萩風 吸水性大
T-58	¥1,890	15kg	1,250°C	13.5%	2mm	野焼用	濃い	良	黄土主体 野焼きに良く使われる 本焼可能
8-2	¥1,770	15kg	1,230°C	14.5%	2mm	粉引用	濃い	良	鉄粉多い 刷毛目や粉引きに良く使われる
6-3	¥2,110	15kg	1,230°C	13.0%	2mm	荒目	並	並	赤土主体 扱いやすくキズも出にくい
T-127	¥1,860	15kg	1,230°C	13.5%	2mm	粉引用	並	並	黄土主体 鉄粉が多い T-126細手
8-1	¥1,610	15kg	1,280°C	13.5%	2mm	荒目	薄い	良	黄土主体 焼き上りが柔らかく鉄粉が多い 吸水性大
T-132	¥1,660	15kg	1,250°C	13.5%	3mm	荒土	濃い	並	黄土主体 荒い鉄粉と砂気を含む
T-126	¥1,810	15kg	1,250°C	13.5%	3mm	粉引用	並	並	黄土主体 荒い鉄粉と砂気を含む T-127荒手
M-69	¥1,180	15kg	1,200°C	14.5%	原土調合	粉引用	並	難	原料G-167 粘性はあるがコシは弱い
3-1	¥1,190	15kg	1,250°C	14.0%	原土調合	荒土	並	難	吸水性が無くなるので素焼不可 粉引き不向き
南蛮土	¥1,240	15kg	1,190°C	12.4%	原土調合	荒土	並	難	低温でも変化が出やすい

表示価格は8%の消費税込です。
一円単位を四捨五入しています。

注:1 焼へたる事が無く、陶器として堅牢性の出る温度帯。釉薬との反応や水漏れ具合は粘土原料と温度だけでは判断できない。

注:2 精製時の篩いの通称。メッシュは1インチ(2.54cm)の目数。目は一寸(3.03cm)の目数。mm単位は目開き寸。篩い機の動き方でも原料の粒子が変わる。

注:3 素地の濃さは社内比較。一般的な陶芸粘土より全体的に焼き上がりは濃い。また原料に因っては温度が高くなると白みを帶びたり濃くなるものがある。

黄土主体-赤土に比べ粘土粒子が細かく、粘性収縮共に強く、焼き上がりの素地に硬さや光沢が出やすくなる。

粉引用-荒く鉄粉の含むものが当社では粉引や刷毛目に面白いとして“粉引用”とされています。化粧が剥がれにくいという理由ではありませんので御注意下さい。収縮率の高いものは市販の化粧泥と合いにくいので調整が必要です。方法が判らない方はご相談ください。

鉄粉-目に見える程度の金属化合物の粒。